

# 磐梯山登山道の状況

【テーマ】 磐梯山における登山道の自然条件、危険箇所、整備箇所、継続確認の観測

【目的】 磐梯山は国立公園内にあり、深谷久弥氏の日本百名山にも数えられており、また、日本ジオパークにも認定された。

年間3万人近くの登山者が訪れる山であったが、東北大震災の年は大幅に減少した。特に学校登山が極端に減少したが、年々回復に向かっているため、震災前に戻るのも近いと思われる。このため、訪れる登山者に安全に楽しんでもらうために、登山道の道標や看板、危険箇所の整備が必要である。また、貴重な高山植物の保護及び地形の変化の監視も重要な課題である。

以上のことを踏まえて観察をした。

【観察日】 6月6日、6月19日、7月16日、7月22日、7月31日  
9月15日、9月26日、10月4日、10月24日、10月31日

【調査者】 江花 俊和（猪苗代山岳会、日本山岳会、HATJ、いなわしろ伝保人会）

【結果】 結果の具体的な内容については、3ページ以降に記載しています。

自然保護	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	黄金清水と付近の踏み跡、立札 お花畑の踏み込み跡 携帯トイレブース、便座、回収ボックス
危険箇所	(1) (2) (3) (4)	渋谷コースの土砂崩れ 沼ノ平上部のガス噴出箇所 山頂直下の杭とロープ（傾き）
整備箇所（道標他）	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	「赤埴山」の道標破損（猪苗代コース） 看板の倒（猪苗代・渋谷コース分岐） 道標の老朽化（渋谷コース） 旧道標の放置（川上コース） 「天の庭」道標傾き（猪苗代コース） 「登山箱」の仮置き（川上コース）
整備箇所（道標他）	(1) (2)	火口のルート（川上&裏磐梯コース） 迷い易い分岐（川上コース）

- |               |        |                     |
|---------------|--------|---------------------|
| 要 継 続 確 認 箇 所 | (1)    | 櫛ヶ峰山腹の崩壊            |
|               | (2)    | 火口の植生の繁茂            |
|               | (3)    | 猪苗代スキー場             |
|               | (4)    | ばんだいX2スキー場          |
| そ の 他         | (1)(2) | 火口壁の階段設置(川上&裏磐梯コース) |
|               | (3)    | 遥拝所跡(翁島コース)         |
|               | (4)    | 鏡沼の水量減少(猪苗代コース)     |

【考 査】 県外の山を歩いて感じることは、磐梯山は道標、橋、足場などの登山道の整備が良いとはいえず、整備を要する箇所が多い。立ち入り禁止の箇所への踏み込み跡が見られるので、自然保護上これらを含めて対策と見直しが必要であると思う。  
まの、噴火後の地形や植生の変化にも目を向けていかなければならないのではないかと思う。